

1	審議会名	第8回真田地域協議会
2	日時	令和5年11月28日(火) 午後7時00分から午後8時10分まで
3	会場	真田地域自治センター3階 講堂
4	出席者	荒木克子 委員、金井由造 委員、澁澤春代 委員、清水由香 委員、関口俊行 委員、高寺由美子 委員、田畑和秀 委員、中村守 委員、廣瀬しず江 委員、堀内和子 委員、堀内靖子 委員、松本規男 委員、丸山美奈子 委員、皆川克彦 委員、宮島淳 委員、柳沢泉 委員、柳沢芳明 委員
5	市側出席者	山賀教育総務課長、鈴木企画担当係長、横関企画担当主査 田中地域自治センター長、羽毛田地域自治センター次長兼地域振興課長、半田市民サービス課長、小林産業観光課長、松木教育事務所長、山浦真田消防署長、下平真田地域建設課管理担当係長 宮島課長補佐兼地域政策担当係長、櫻井主査、坂井主事、望月主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	1人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和5年12月1日

協議事項等

会議次第

1 開会 (中村副会長進行)

2 会長あいさつ

3 センター長あいさつ

.

4 調査・研究事項

上田市小中学校のあり方に関する基本方針に関して

・事務局から

山賀課長、横関主査から説明

【質疑】

(委員) 資料に児童・生徒数について記載があり、令和11年までの住民基本台帳からの推計数字とあるが、もし(数字として)あったらそれ以降の推計値なども持ち合わせているか。また、西内小が統合されることで、それらの経過でどのような地域からの意見があったのか、この場でいえる範囲で結構なので教えていただきたい。

(教育総務課長) 表でお示した人数は、現在1歳の(住民基本台帳に記載された)お子さんから(令和11年に小学校就学するまでを)推計しているため、それより先の人数の推計は持ち合わせていない。また、西内小学校の統合については、平成29年度から複式学級になってしまうということを地域の方が大変心配され教育委員会に相談があった。やはり複式学級でもいいという学者の声もあるが、学校の実情を見ると(一学年分)先生が一人少なく、子どもたちの教育環境に良くないということで、西内の地域の皆さんの統合への意見が集約されたきっかけになったと認識している。ただ、私どもが地域に(学校統合に向けた)説明に入った時には、学校を残したいという声もあり、数回にわたり説明会を開催した。また、保護者の皆さんは、理屈ではわかってもせめて自分の子どもたちはこの学校で卒業させたいという思いから、統合の時期をもう少し先に遅らせてほしいという声もあり、統合の時期については、保護者の皆さんと時間をかけて話をさせていただいた経過がある。保護者の皆さんの中には令和8年に統合という少し先の時期の希望があったが、教育環境として、先ほどの児童がいない学年、入学式もない年もあるため、それでは教育環境が成り立たないということで最終的に御理解をいただいて統合という

結論になった。

保護者の皆さんからは、徒歩で行っていた学校が遠くなるということで、通学手段の確保については万全を期してもらいたい、また、統合に伴い児童が心理的に不安にならない様、丸子中央小との事前の交流活動をしっかり行ってもらいたいという御意見をいただいていたので、現在、両校で交流活動を行っている。

現在の状況として、地域の御年配の方からも子どもたちはすぐ新しい環境になれる、との御意見もいただいていたが、私たちが現在見る限り、確かに子どもたちは友達がいると楽しそうにしている様子が見られる。保護者の方が新しい学校での役員の体制などを心配されている声もあり、検討組織を設け、様々な方面で調整をさせていただいているところである。

(委員) 私自身も長小出身であるが、地域の実情を見ると児童数はほぼ半分まで減ってしまうということがある。自分の自治会でもなかなかお子さんが増えていかない、また県外から移住されているご家族もある。地域独自でお子さんを増やすのがなかなか難しい現実もあるが、地域に人を呼ぶような方法や、独身の方の婚活支援など、様々な機関と情報共有や連携しながら、せめて(児童減少が)横ばいになるような方策がとれたらと思う。また、西内小の統合の話の中で、独自に地域からの声があったとお話があったが、それはPTAが主体だったのか。

(教育総務課長) 西内の検討組織にはPTAも入っていただいているが、歴代のPTA会長であるとか、地域の市議であるとか、地域の様々な方に入っていただいている。また、丸子地域自治センターの地域振興課にも地域の課題として入っていた。

(委員) 11月16日の保護者説明会に私も参加させてもらったが、保護者の方の参加が非常に少なく驚いた。今のPTAの保護者は自分の子どもが卒業した後のことならいいのかなどと思ってしまうのかもしれない。今後も根強く地域の方や保護者の方に説明の機会をいただいて、これだけ子どもが少なくなっていくのだということがわかってくるとまた議論が進んでいくと思う。11月16日は真田地域全体の話であるが、小学校単位やもう少し細かい地域などで、PTAの方、地域の方にもお話をさせていただきたい。

(委員) 資料の中でみるだけでは複式学級になるには真田地域の小学校はまだ時間はあると思う。ただ、まだ先のことはわからない。上田市は小規模校での教育の在り方に経験のある地域だと思っている。小さい規模の良さを生かした学校運営がされていると思う。この地域でも傍陽小学校も小さいからこそできる経験があると思っている。その良さを大事にしてもらいたいと思っている。減っていくから困るだけではなく良さを生かしていく必要もあると考える。もう一つの質問が、いただいた資料では学校の統合に関する経済的な効率化については書かれていない。上田市の財政面での考え方を含めた、学校のあり方、方針というものはあるのか。

(教育総務課長) 小規模校の良さは教育委員会としても承知している。また先ほどの資料にある通り、小規模校の人数にも幅がある。真田地域の学校で複式になる、つまり二つの学年で8人以下になる学年というのは、資料を見てもすぐに生じるわけではないが、小規模校の中でも、例えば先ほどの話のように学年に児童がいらないだとか、複式学級になってしまうなどといった小規模化がより進行した時には何かしらの手立てを考えていかなければならないと思う。また財政面については、本日お配りしている資料には記載がないが、上田市小中学校のあり方に関する基本方針には記載している。学校を維持していくということは多額の予算がかかっている。今ある学校をただ建て替えるというだけでは財政上困難になってくる。ただ、それを最優先にして、統合を行っていくということは教育委員会としては考えていない。子どもたちの教育環境をどのように維持していくか、教育の質はどうかということに着目して決定していきたい。ただ一方で行政である以上、財政面に着目しないわけにはいかないため、もう一方の面では財政的な研究をしていく事も必要になってくる。

(委員) 適正な規模の学校で適正な教育を受けさせるというのは誰が考えても大切なことだと思う。一方その状況を判断し、決定していくのはどのタイミングでだれなのか。地元のPTAなどに話を聞いていくとのことだが、どこかの段階で誰かが(統合などの)判断をしていく事になると思う。どういう条件が整った時に誰が決めるのか、ということは先にお示しいただければいけないと思う。もう一つが、自分の子どもが小さい頃だが真田地域の保育園の統合があった。ちょうど統合する前に子どもが登園していて、保護者会で当時の町役場の方が頻繁に見えて説明があった。でも結果的に、その時の保護者が卒園して、そのあと統合があった。当時の保護者が一生懸命行政と話を決めて決まったことだが、後々考えると誰が賛成して誰が反対してどこが決めたのかなというのがよくわからずじまいだった。

(教育総務課長) 行政の手続き上でいえば学校の統合を決定するのは教育委員会になる。では、教育委員会がどのような時に統合を決定するのか。子どもは成長し学年が入れ変わっていくし保護者の方も入れ替わる。また、説明会にしてもおいでになる方の意見はとれるが、多数決で決めるものではない。西内小でもそうだったが、子どもの教育環境はどうあるべきかの意見交換をしながらある程度のイメージ、統合がいいのか、小中一貫校がいいのかなど教育委員会でいくつかの案をお示しし、地域の皆さんの中でこういう方向性なら(いいのではないかと)いう概ねの合意形成というのが、抽象的ではあるが、そういった気運が高まってきた時に教育委員会としても(結論に向けて)検討していくという方向である。学校の設置者は市長であるため、最終的には教育委員会の決定を市議会にお諮りして、決定していくというプロセスになる。最終的な決定手続きに至るまでには、県内の事例を見ても様々であり、教育委員会で何年に統合するという方針を出し、地域に説明していくという自治体もあるが、上田市としては地域ごとの実情に応じて、教育委員会から案をお示しし、概ね皆さんの合意が得られたところで次のステップに進んでいくということになる。

(会長) 先ほど保護者の方から相談があったとの話だが、我々地域からより良い真田町の教育について、住民から考えて提案していくのが筋かなと思う。将来的に学校が、子どもたちの教育がどうなっていくのが良いか、長い時間をかけて検討していく必要があると感じる。

5 報告・確認事項

(1) 次回協議会日程

計画どおり 12月26日(火)午後7時からを予定する

(2) その他

【事務局から】

- ・ 第10期地域協議会の団体推薦のお願い
- ・ 真田の郷まちづくり推進会議から防災人材育成研修等の案内【事務長 久保さん】

6 閉会